

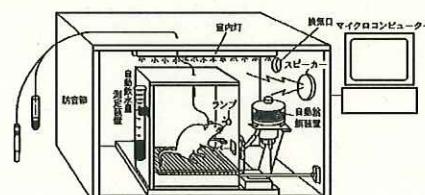
科学的視点から考える コーチング

筑波大学体育系
大山下圭悟（おおやまべんけいご）
ohyama@taiiku.tsukuba.ac.jp

スポーツ指導者の役割

- ・競技力向上
- ・人間的な成長
- コーチング行動の優先事項はどこに？
今強い選手を育てるか？
最高到達点の高い選手を育てるか？
(将来の競技力 人生への責任)
- 勝利は選手のため？指導者のため？

ラットの学習（オペラント条件付け）



- 心がない前提：学習内容の他行動へのひろがりはない
→発想の狭さ →全て一から教える？

大山の現場での仕事

- ・毎日グラウンドでは？（コーチ？トレーナー？）
ミーティング→カウンセリング→チーム練習→個人練習……
- ・大学指導者の役どころ
→まず邪魔をしないこと
→高校でよく指導された選手にいかに関わるか
- ・個人スポーツのチームワーク
→意識的な醸成が必要

体罰は最善の方法でない

- ・指導のために傷つけてよいのか
- ・ストックホルムシンドローム
(フルイ指導者の手口)
- ・恐怖政治と单一化政策

cf. 覚醒の緊急性と侵害刺激
都合の良い拡大解釈

強くなる選手とは？ - 大学生を見て思うこと -

- ・誰からでも学べる
- ・目標達成のために努力を惜しまない
- ・人のせいにしない&人まかせにしない
- ・夢がある
- ・あきらめない

このような選手をいかに育てるか？

<傷害予防> 指導者に求められる判断力

- ・オーバートレーニングの見きわめ
- ・難治性の障害（疲労骨折など）
- ・けがの前兆
- ・環境リスクの回避 etc.



●身近で見ているからこそわかること

<傷害予防> 医療機関へのかかり方

<医療機関や治療院それぞれの特徴・得意分野を理解>

- ・原因がはっきりしない → 総合病院 総合診療科
- ・初期の確定診断 → 総合病院・医院（検査設備の有無）
- ・長期治療 → 治療院・リハビリ設備のある病院
- ・身体の手入れ・チェック → 治療院・かかりつけ医

●まず診断を受ける！！

フィールドに立たないと わからないこと

- ・わからなくても 見る
- ・レントゲンの読影
→正常例をいかに
たくさん見るか



<http://images.radiopaedia.org>

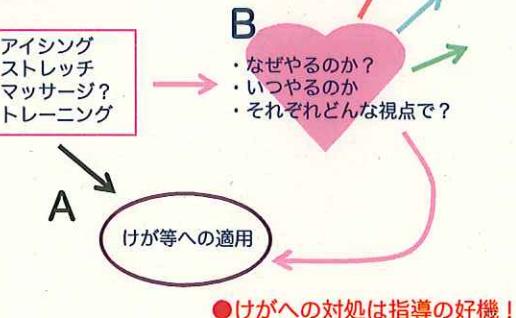
<傷害予防> 身体の手入れと選手のこころ

- ・手っ取り早く人まかせの傾向？
- ・なぜここで鍼なのか なぜマッサージなのか
- ・本当に強い選手は人に身体を触らせない

●指導者からセルフケアへの要求を！

<傷害予防> 処置選択の考え方

- ・アイシング
- ・ストレッチ
- ・マッサージ？
- ・トレーニング



●けがへの対処は指導の好機！

科学的な情報をどこから？

- ・文献的に
→著書の参考文献・Ciniiから総説や論文
→学術論文には難点も
- ・ネット情報@信頼性をいかに判断するか
→大学・病院・学会・公的機関...
- ・主観的情報@日々の蓄積で客観的に
→試行錯誤のデータを共有

コーチングとデータ活用の例

- ・ハードルタッチダウンタイムと活用法
- ・相関散布図の見方
- ・発想の転換で速度特性の評価
- ・コントロールテストの取り扱い

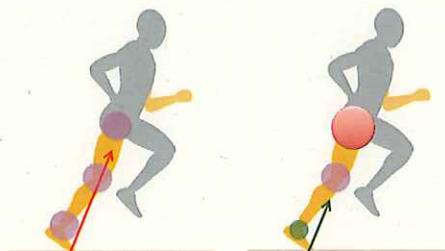
問題解決と構造の分析



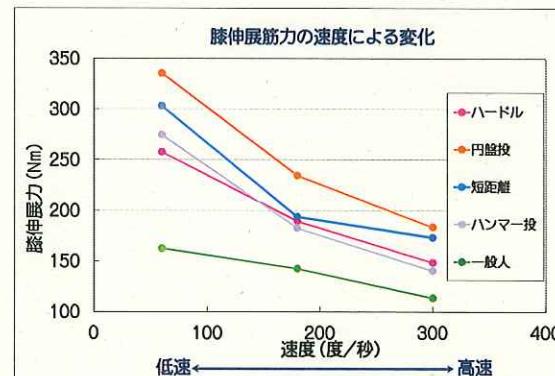
Figure 1: Partial distances in the long jump

Moura et al. <<http://www.coachr.org>>

全身の力は一番弱い関節の強さで決まる



22

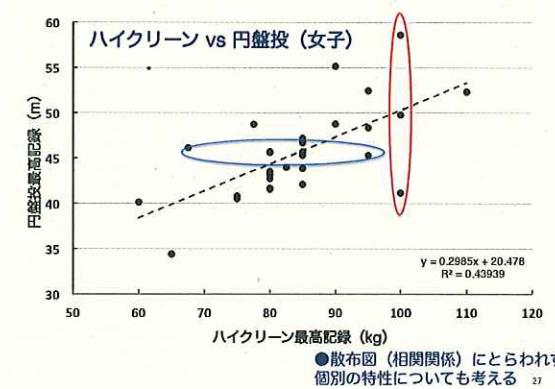


23

室伏広治選手の体力

種目	室伏広治	セディフ	デフヤトフスキイ	ゲチェック
ベスト記録	84m86	86m74	84m90	83m68
身長体重	187/99	185/115	193/117	182/109
スナッチ	130	120	120	180
ハイクリーン	195	155	215	
フルスクワット	240	230	380	290

24



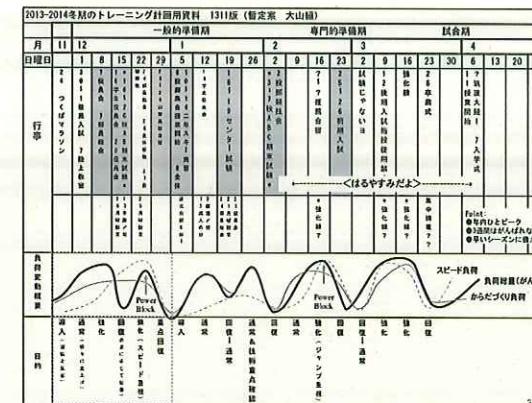
25

コンディショニング計画の提示

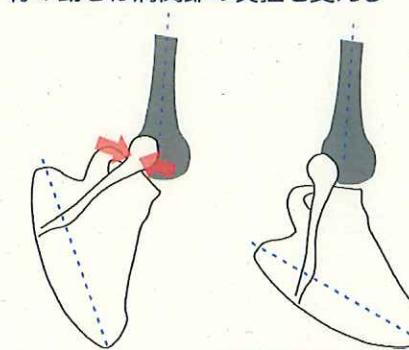
- ・中長期計画のカレンダー
- ・試合直前の調整計画

●計画の可視化と共有
→ 今がんばるべきか 休むべきか

30



肩甲骨の動きは肩関節の負担を変える



●制限要因が見えているか？



試合前の食事について（例）

- 避けたいもの
生もの（感染の危険） 繊維質（ガスの発生）
脂っこい・甘い・しゃっぽい（胃内貯留時間長）
- 3h前一ごはん・パン>ゼリー・バナナ
>ドリンク・飴一直前
- ・消化中は機械的刺激大きく血流配分が消化器へ

32

●なぜか？根拠提示の必要性。

36